

2024.6.1

号外

立憲民主党 立憲民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1三宅坂ビル7F
Tel.03-3595-9988 Fax.03-3595-9088

北海道4区は
島牧村から
石狩市浜益区まで!
おおつきくは
挑戦するあなたを
全力応援します!

撮影地: 石狩市浜益区



ポスター掲示のお願い

ご自宅、ガレージ、畠など
ポスターをご掲示いただける方へ
いらっしゃいましたら、
すぐに伺わせていただきます。

立憲民主党北海道第4区総支部
おおつきくは事務所

《小樽》 〒047-0024 小樽市花園2-6-7 プラムビル5F
電話 0134-61-7366 FAX 0134-33-7345
《後志》 〒046-0003 余市町黒川町3-139
《手稲》 〒006-0022
札幌市手稲区手稲本町2条4丁目1-5
《西区》 〒063-0081
札幌市西区琴似1条7丁目1-35サントBLDIII2F
《国会》 〒100-8982 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館820号室
電話 03-3508-7493 FAX 03-3508-3320

SNSでいつでも
くはに連絡できます



おおつきくは プロフィール

1983年 小樽市立病院で生まれる
4人兄妹の末っ子
幸小学校、長橋中学校、
小樽潮陵高校を卒業後、イギリスへ留学
現バーミンガムシティ大学で
ジャーナリズムの学位取得
帰国後はフジテレビに入社
報道局政治部の記者として
野党キャップを務めた
家族：夫・娘と息子
国会では国会対策委員長補佐、
総務委員会・法務委員会
消費者問題特別委員会に所属

助かるはずの命が救えなくなる!? 救急車到着 初の“10分超”



総務相 人員その他、計画的に必要な人員の確保に努めている。マイナ保険証を活用した救急事業の実施で、マッチングをより円滑に進めることができないか実証実験を実施。

「#7119」事業の普及にも取り組んでいる。かかりつけ医による訪問診療との連携強化の方策などの検討。各消防本部はDXのみならず体制を含めて工夫している。

現場の状況をよく把握しながら、必要な体制は急いでできるようにしっかり努めたい。

“これから”的救急体制”とは

119番通報を受けて救急車が現場到着するまでの平均時間が10.3分（令和4年度）、初めて10分の壁を超えた。20年前は「6.3分」だった。

4分以上も増えている。1分1秒を争う現場で何が起きているのか。

2025年には団塊の世代が75歳以上になり、超高齢者社会を見据えて、これからの日本で政府の取組むべき課題を総務委員会で議論しました。



消防庁 10分の壁を超えるリスクとは？

消防庁 救急隊による、救命処置、応急処置が遅れるだけではなく、心肺停止傷病者などへ影響の懸念もある。地域の実情に即した計画的な増隊検討、適切な救急体制の確保に努めている。



消防庁 助かるはずの命が助からなくなるのではないかと思う。なぜ遅延化に歯止めがかからないのか？



消防庁 高齢者の人口増加、コロナ禍で救急出動件数が増加、また、搬送先の決定に時間がかかり、救急車の出動率が増加している。遠方の救急車も出動せざるを得ない状況が発生し、到着所要時間が延伸。



消防庁 搬送者の約半数が軽症者である。どういう症状で救急車を呼ぶべきか相談できる救急安心センターダイヤル「#7119」の普及促進が必要だ。団塊の世代が75歳となる2025年もくる。いつまでに、どのくらい、救急隊員を増員と救急体制の強化を想定しているか。



消防庁 「#7119」全国展開に加え、昼間人口、高齢化状況、出動状況など地域の実情を勘案し、救急隊の計画的な整備に取り組んでいる。救急隊員も10年で6233人増加。救急需要の増加に対して適切な救急搬送体制が取れるように引き続き支援していきたい。



消防庁 やはり団塊の世代が後期高齢者となる「2025年問題」を見据えて政治判断が必要だ。総務大臣、今後の見通しを示すべきだ。



消防庁 「2025年問題」に対応するには現場は数が足りない。短期的には救急隊員をもっと増やすべきだ。

消防庁 消防庁はマイナ保険証を救急隊が現場で読み取って必要な診療情報などを入手し、搬送につなげる実証実験を令和6年5月から順次開始、令和7年度中の本格運用を目指す。しかし、令和4年度に先行して実施された救急現場での実証実験では、マイナ保険証を活用しなかった令和3年度に比べて

消防庁 「6分29秒」も遅くなる結果となった。救急業務の迅速化、円滑化のためなのにデータの閲覧作業が加わったことで、逆に搬送時間が延伸したのは深刻な事態だ。



消防庁 今回の実証実験では、同意の取得方法について、手書きでの書面同意から口頭同意に変更し、情報閲覧にかかる時間の短縮を図れるよう関係機関と調整している。また、消防本部に取扱要領や運用手順に関する詳細な説明を行うこととしている。本格導入へ向けて、救急隊が現場において活用しやすいように、タブレットで視認性の高い画面設定として、画面遷移数を少なくするなど、更なる時間短縮につながるシステム改修を行ってまいりたい。



消防庁 政府は今年12月2日で現在の保険証を廃止すると正式決定した。懸念、不安の声はまだ多い。今の保険証はまだ残すべき段階であると改めて申し上げる。



↑羊蹄山は標高1898m！今年も登山挑戦したい



↑補選で3勝！一期生の仲間が増えました！

